

## 高速自動車国道東九州自動車道における高速道路利便施設等の事業計画（案）

## 1. 申出者の概要

- (1) 自治体名 川南町
- (2) 設 立 昭和 28 年 2 月 11 日
- (3) 人口・世帯数 【町全域】 6,069 世帯・15,582 人（国勢調査をベースにした現住人口 平成 30 年 3 月 1 日現在）

## 2. 事業の概要

- (1) 連結の位置 宮崎県児湯郡川南町大字川南 1170 番地 542 外
- (2) 連結形態 閉鎖型
- (3) 連結予定施設 休憩所
- ・敷地面積：4,135 m<sup>2</sup>
  - ・施設の構造：鉄骨造一部 2 階建 建築面積 1,080 m<sup>2</sup>
- (4) 工事費の概算額 ■■■■■ 円
- (5) 連結開始予定時期 平成 32 年 5 月

### 3. 技術的基準等による審査結果について

#### 第1 技術的基準について

該当事項なし

審査の内容	対応状況等
連結位置	従来SAPAと同様の駐車場及び園地部に直接連結するため問題なし
通路等構造	通路を介さず、SAに直結

#### 第2 事業者及び事業計画に関する審査基準について

##### (1) 事業者の資力・信用及び事業の安定性について

川南町は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、早期健全化基準に該当しない自治体であり、問題はない。

##### ○欠格事由について

事業者の欠格事由については、いずれにも該当しない。

##### ○事業計画の実現可能性について

- ・地元住民、行政機関等の実現に向けた環境調整

当該施設の建設計画にあたり地域住民を含めた調整会議が円滑に行われており、反対運動等はない。

- ・事業地の権原の取得見込み

平成30年2月に地権者及び耕作者と交渉した結果、事業内容に対する理解、土地譲渡の内諾をいただいたことから、取得可能と判断しており、平成30年12月を目途に取得予定。

(2) 地域との調和について

審査の内容	対応状況等
・地元の事業者が営業者（テナント）となるか	管理運営は、指定管理者制度を活用し選定予定であり、テナントは地元業者を優先して導入する。
・地元のまちづくり計画と整合しているか	庁内の関係部局、町内の各産業団体、地域づくり団体の同意が得られている。
・一般道の交通に悪影響を与えないか	閉鎖型であり、一般道への影響はない。
・地元の人がどの頻度利用するか	地域産業及び地域住民などが連携した「食」の観光情報や地域情報などを発信する施設であり、定期的に地域参加のイベントを開催する。
・立地について目立った反対運動はないか	当該施設の建設計画にあたり地域住民が参加した調整会議が円滑に行われており、反対運動等はない。
・立地について騒音・振動等近隣状況に支障はないか	周辺に民家等はなく、騒音・振動等その他の支障はない。
・周辺の景観との調和はどうか	周辺地域との調和を保つため、外装は茶色系を中心とした和風のデザインとし、景観に配慮した落ち着いた施設とする。
・緑化・省エネ・省資源等環境対策に積極的に取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内は積極的に緑化を図り自然環境への配慮を行う。</li> <li>・ガラスファサードによる自然光の取り組みを行い節電を図る。</li> <li>・「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（グリーン購入法）に記載の材料を積極的に使用する。</li> </ul>

(3) 利用者の利便性について

審査の内容	対応状況等
・営業時間	休憩所の営業は7:30～20:00（予定）。
・公衆トイレは設置されているか	川南 PA にも設置されているものの、利用者の利便性を考慮し、連結施設内にも設置する。
・バリアフリー対応であるか	対応とする。
・道路案内等の情報提供を行うか	施設内において、通行止め、渋滞情報等の道路案内を実施する。
・利用者ニーズが高いか	東九州自動車道では SA や PA などの休憩施設の間隔が長い（約 38～65km）ことから、当連結施設は高速道路利用者に憩いと安らぎを与えるニーズは高い。
・複数業種のテナントにより多様なサービスが提供されているか	フードコート、ショッピングコーナー、テイクアウトコーナー等の多様なサービスを提供できるよう計画している。

・取り扱う商品（アイテム数、地域指向の品揃え等）は、充実しているか	町内の地場産品を中心にしながらも、西都児湯地域などの県内の産品を充実して揃える。
・施設の利用者の範囲が限定されないか	来訪者は誰でも利用することが可能である。幅広い品揃えをすることにより、幅広い利用者のニーズに対応する。
・高速道路利用者には独自の創意工夫によるサービスの提供が図られるか	地域資源を活用したおもてなし、サービスを提供する。
・近傍のサービスエリア・パーキングエリアと競合しないか	当該施設と東九州自動車道の直近 SA や PA までの距離はいずれも標準的な距離を上回るものであり競合しない（上り側：道の駅北川はゆま（65km）、下り側：宮崎 PA（38km））。

（４）高速道路事業への収益還元について

審査の内容	対応状況等
・高速道路の利用者を増加させる効果はどうか	本地域の文化、歴史、地場産品、イベントなど様々な情報を発信することにより本地域及び東九州自動車道のイメージを高めることが出来、利用者を増加させる効果がある。
・高速道路トータルとしての利便向上につながるかどうか	

4. 事業の収支及び資金計画の概要

(1) 設備投資 (平成 31 年 7 月～平成 32 年 4 月)

(百万円)

項目	金額	
建設費		
工事費		
用地費		
附帯工事費		
その他経費		
資金		
町費 (自己資金)		
借入金		

(2) 運営費 (平成 32 年 5 月～平成 42 年 4 月)

(百万円)

項目	金額	
A. 収益		
B. 費用		
維持管理費		
一般管理費		
借入金利息		
借入償還金		
連結料		
仕入れ		
人件費		
法定管理費		
水道光熱費		
修繕費		
運営費		
消費税		
地代家賃		
その他経費		
什器備品費		
収支差 (A-B)		

必要駐車マス数について

増設駐車場必要駐車マス数は、NEXCO 設計要領に基づき、下式により必要駐車マス数を算出する。

必要駐車マス数 = 設計交通量 × 立ち寄り率 × (ラッシュ率/回転率) 設計交通量 (台/日) : 休日サービス係数 × 日交通量 回転率 = 60/平均駐車時間 (分)                      ※小数点第 1 位繰り上げ
--

増設駐車場の必要駐車マス数は、連結施設整備前後の平均駐車時間の差から算出する。

■平均駐車時間 (整備前：NEXCO 調査実績  
(平成 年 月調査)、整備後：設計要領より)

表-1 平均駐車時間 (連結施設整備前後)

車種	平均駐車時間 (分)	
	整備前	整備後
小型車		
大型車		

■計画交通量 (NEXCO)

計画交通量、休日サービス係数等の条件は、以下の値を用いた。

表-2 計画交通量

車種	計画交通量 (台/日)	
	上り	下り
小型車		
大型車		

■休日サービス係数 (設計要領より)

表-3 休日サービス係数

年平均日交通量 Q (両方向：台/日)	休日サービス係数



## 建築関係法令等の適合について

(1) 所在地 宮崎県児湯郡川南町大字川南 1170 番地 542 外

(2) 都市計画

(イ) 都市計画 都市計画区域外

(ロ) 用途地域 なし

(ハ) 建ぺい率・容積率 制限なし

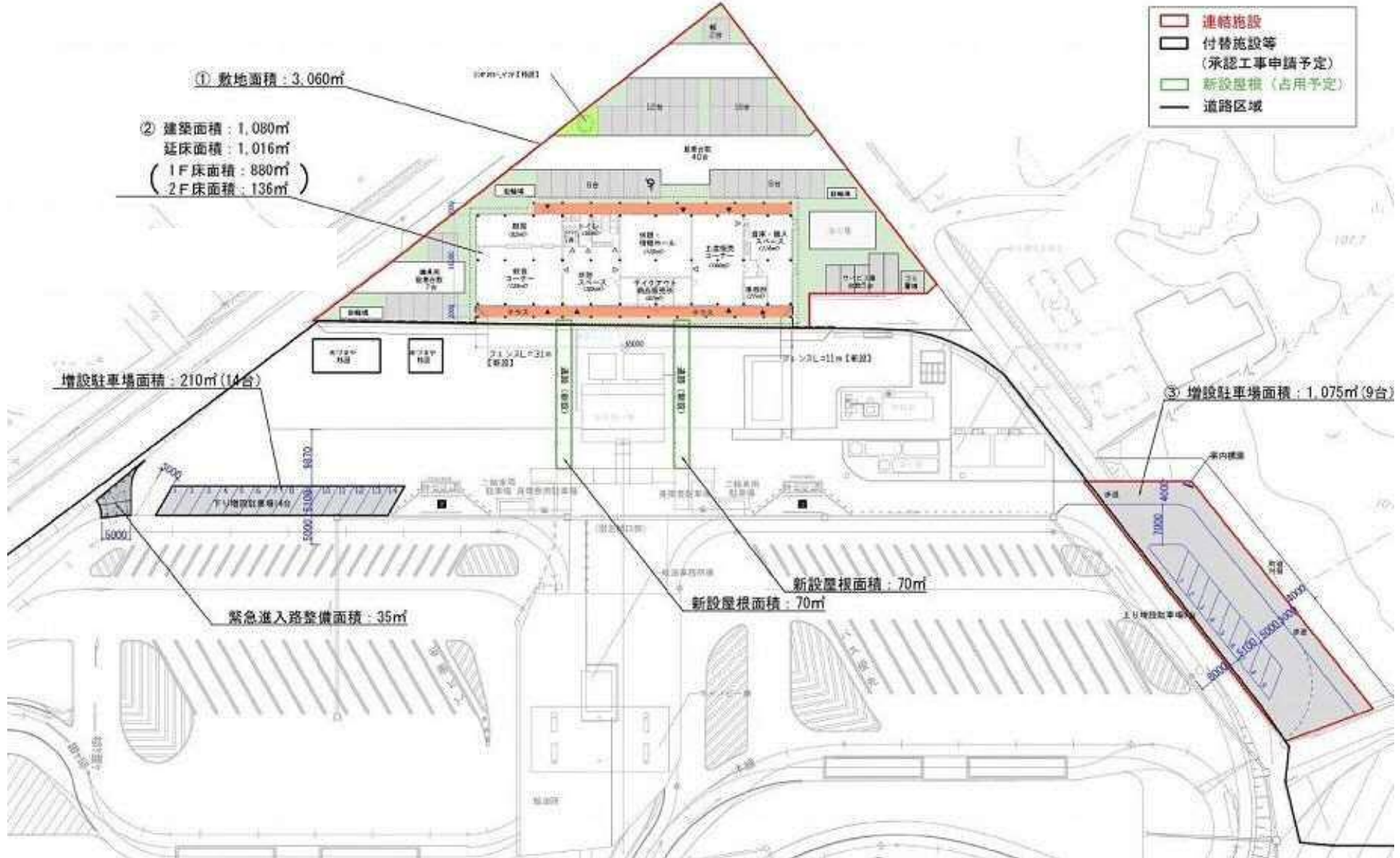
(3) 法的規制との適合性

関係法令等の名称	条文及び規制	適合性
都市計画法	なし	—
建築基準法	第6条第1項	庁内関係部局と調整中
文化財保護法	なし	—
条例	なし	—
指導要綱等	なし	—

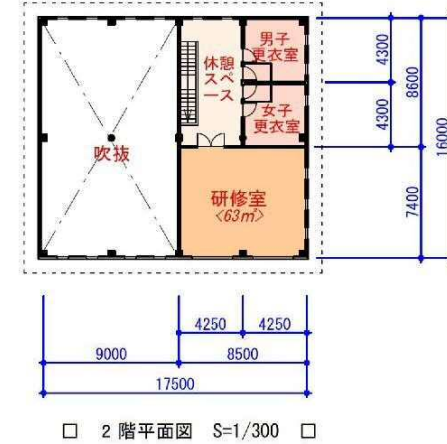
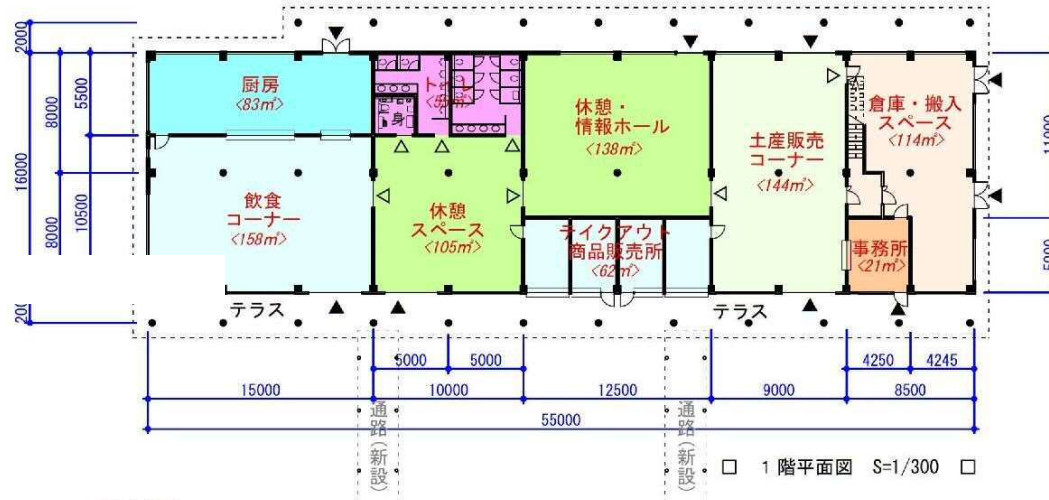




# 連結敷地平面図



川南町パーキングエリア活用施設  
建物平面図、立面図



■建物概要

□構造規模

- ・主体構造：鉄骨造一部2階建
- ・最高高：8.67m
- ・階高：1階 3.5m、2階 3.0m

□面積

- ・敷地面積：約3210m<sup>2</sup>
- ・建築面積：1080m<sup>2</sup>
- ・延床面積：1016m<sup>2</sup>  
(1F:880m<sup>2</sup>、2F:136m<sup>2</sup>)

□主な外部仕上

- ・屋根：金属葺
- ・外壁：杉板下見板張
- ・建具：アルミサッシ、鋼製扉

□主な内部仕上

- ・天井：岩綿吸音板張
- ・壁：クロス貼、腰：杉板張
- ・床：タイル貼、フローリング張

□立面A案



□ 西立面図 S=1/300 □



□ 北立面図 S=1/300 □



□ 東立面図 S=1/300 □



□ 南立面図 S=1/300 □



鳥瞰図



アイレベルパース

# 都市計画図

